

平成 27 年度事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日
公益社団法人日本左官会議

1 概況

日本左官会議は、平成 24 年 6 月 21 日、一般社団法人として認可され、平成 25 年 3 月 1 日には、公益社団法人として認可された。平成 27 年度は公益社団法人として 3 年目となった。左官職人以外の支援会員が増えている。

2 事業期間

平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 28 日

3 事業の状況

建築家やまちづくりに関わる方、海外の研究者など、多分野の専門家と交流する機会が増え、今後の展開の基礎ができてきた。また、「俺たち左官の 70 年」座談会を行い、左官の視点ならではの発信の準備も整った。新たに会員向けのメールニュースを 5 月より 2 カ月に 1 回のペースで発行し、facebook での発信を行い、左官に興味がある人たちのネットワークが広がっている。

4 事業の概要

1) 伝承・普及

大工や左官といった職人がつくりあげてきた伝統構法を継承していくため、「伝統構法をユネスコ無形文化遺産に！」という運動が始まっている。これに連動して、4 月 25 日（土）、名古屋工業大学で「無形文化遺産をめざす、伝統構法と左官技術」フォーラムを開催した。約 150 名の入場者を集め、運動を盛り上げると共に、共通する志をもつ人たちと交流する機会となった。

翌日には「如庵」の見学会を行い、一般の方も参加した。

6 月 26 日～27 日には、日本左官会議会員以外の左官、ゼネコンの方も含めて、11 名で「俺たち左官の 70 年」座談会を行った。戦後の野丁場（ビルなど）、町場（住宅など）の左官のこれまでを概観した貴重な話が集まった。次年度、WEB サイトで紹介する。

また、5 月 30 日～2016 年 1 月 24 日、全国 8 箇所で開催された「2015 年国際土壌年記念巡回展 土ってなんだろう？」に協賛、壁の見本を展示した（挾土秀平制作）。

2) 研修・育成

9 月 27 日、秋田・増田町で「黒漆喰磨きの集い」を共催。同町は、左官技術のなかでもきわめて難易度が高い黒漆喰磨きの内蔵をもつ家が多いことで知られる。しかし、地元では技術の伝承も絶えているため、継承、発展させていく道を求めて、町の人たちと左官が登壇、意見を交わした。若手左官職

人を相手に、実技講習会も開かれた。

3) 調査・研究

土蔵修復、維持のために必要となる樹脂を探して、研究者と共に試験した。望むような結果は得られず、今後、検討を続けていく。

また、伝統建築において、木造や茅葺き屋根については詳細な調査がなされているのに比べ、左官の素材や技術については体系だてられておらず、修復の際に職人の立場から見て疑問を感じるところが多い。そういった現状について情報を収集すべく、準備を行った。

4) 提案・提言

2020年の省エネ基準適合義務が法制化されると、伝統的構法が建てづらくなってしまふ。その問題点を明らかにするための公開フォーラム「伝統的木造住宅と省エネルギー」を後援した（1月17日）。

5) 伝統的建築物の修復・保全

岩手県花泉の唐獅子土蔵の修復事業を継続。傷みの激しかった K 家土蔵の修復は7割ほどが完了した。C家の土蔵は母家と切り離し、クラックの埋めなど、緊急を要する部分を修復した。

6) 体験・教育

栃木県益子町の新しいお祭り「土祭（ヒジサイ）」において、8月に会場設営として、町民と共に民家（グレイズ・ハウス）を改修。土や石灰を用い、すべて人力で、三和土と土壁かき落としをふんだんに使って改修した（指導・横山和弘）。9月の会期中には、モバイルかまどをつくるワークショップを開催（指導・小沼充）。多くの参加者の好評を得た。

7) 国際交流

10月30日東京で、11月3日名古屋で、フランスから土の建築専門家2名を招き、「日本 - フランス 土の建築交流企画 講演+パネルディスカッション これからの時代、土の建築ができること」を開催した。日本建築家協会と共催したため、建築家が多く集まった。

5 会員の状況

名誉会員 2名	顧問会員 8名	正会員 23名	準会員 24名
支援会員 43名	賛助会員 6社	計 106名・団体	(平成28年2月29日現在)

6 役員などに関する事項

議長（新任）	挾土秀平	職人社秀平組
副議長	小林隆男	江州左官土舟
副議長（新任）	原田進	原田左研
総務理事	宇野勇治	宇野総合計画事務所
事務局長	多田君枝	アイシオール
理事	川口正樹	川口左官

理事	小沼充	小沼工業
理事	今野等	今野左官店
理事	豊永郁代	アイシオール
理事	西川和也	工房カズ
理事	松木憲司	蒼築舎
理事	山本忠和	山本工業所
監事	吉村浩志	

すべて非常勤

7 理事会の開催状況

当該事業期間中、下記の通り、理事会を開催した。

4月15日 理事10名と監事の出席により、理事会を主たる事務所で開催。平成26年度事業報告書、第3期決算報告書を承認。4月の総会の開催を決議。議長、副議長、総務理事、事務局長は、みずからが所管している職務の執行状況について、順次報告を行った。

2月23日 理事7名と監事の出席により、理事会を主たる事務所で開催。平成28年度事業計画書と、平成28年度収支予算書を承認。議長、副議長、総務理事、事務局長は、みずからが所管している職務の執行状況について、順次報告を行った。

以上